

京都産業大学

くろさか あきら
黒坂光

京都産業大学 学長



大城光正前学長の任期満了に伴い、黒坂光生命科学部教授が2020年10月1日付で学長に就任した。

黒坂新学長は1957年大阪市生まれ。1981年京都大学薬学部卒業後、1983年に同大学大学院薬学研究科修士課程、1986年に同大学大学院薬学研究科博士後期課程を修了。京都大学薬学博士。

1986年京都産業大学国士利用開発研究所講師、同工学部において助教授を経て2001年に教授に就任。その後、総合生命科学部、生命科学部で教授を務める。2013年総合生命科学部長、2017年

から2018年9月まで副学長、学校法人京都産業大学の理事および評議員を歴任した。専攻分野は生化学・分子生物学。神経系に発現するタンパク質の糖鎖の機能解明を研究し、国際専門誌に多くの学術論文が掲載されている。

「本学の『建学の精神』に立ち返り、将来の社会を担って立つ人材を育成する。京都・上賀茂に位置する一拠点総合大学の利点を最大限に活かし、文化の創造、さらに本学が建学以来志向してきた産学連携を推進して、『文化と産業に貢献する個性ある大学』として発展させていく」と決意のほどを語る。

和光大学

はんや としひこ
半谷俊彦

和光大学 学長



井出健治郎前学長の退任に伴い、2020年11月1日付で半谷俊彦経済経営学部教授が学長に就任した。

半谷新学長は、1966年東京都生まれ。1991年東洋大学大学院経済学研究科博士前期課程を修了後、1997年までドイツ・ヘッセン州立フリップス・マールブルク大学大学院経済学研究科博士課程に在籍。2000年和光大学経済学部（現経済経営学部）専任講師、2008

年同教授となり、現在に至る。2014年からは経済経営学部長、図書・情報館長、副学長など学内要職を歴任。

2020年4月からは学長代行として、新型コロナウイルス対策の陣頭指揮にあたった。専門は財政学。著書に『租税

論研究―課税の公平と税制改革―』（共編著）、『財政学』第五版』（共編著）などがある。和光大学は1966年に創立した3学部7学科を有する文科系総合大学。建学の理念は「大学は自由な研究と学習の共同体」。50年を超える歴史の中で、本学が大事にしてきた教育研究活動の仕組みや進め方をさらに発展させ、新たな時代においても確かな存在意義を示していきたいと考えている。

榊 泰輔(さかまたいすけ)

九州産業大学学長。九州大学理学部卒業後、現(株)安川電機に入社。'95東京大学大学院で博士(工学)の学位を取得。'03九州産業大学工学部機械工学科教授に就任。'18より現職。

長谷山 彰(はせやまあきら)

日本私立大学連盟会長・慶應義塾長。'84慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。法学博士。専門は法制史・日本古代史。'17から慶應義塾長。

真銅 正宏(しんどうまさひろ)

追手門学院大学学長。'92神戸大学大学院文化科学研究科文化構造専攻博士課程単位取得満期退学。'16博士(文学)。'20より現職。主著『匂いと香りの文学誌』など。

梅崎 透(うめざきとおる)

フェリス女学院大学文学部英語英米文学科教授。コロンビア大学大学院歴史学科修了。Ph.D.(歴史学)。共編著に『グローバル・ヒストリーとしての「1968年」』など。

小林 傳司(こばやしただし)

大阪大学名誉教授、東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得退学、科学技

術社会論。福岡教育大学、南山大学を経て大阪大学教授、理事、副学長を歴任。

金山 勉(かなやまつとむ)

立命館大学グローバル教養学部長・教授。'98オハイオ大学コミュニケーション研究科博士課程修了。博士(マスコミ学)。上智大学を経て、'09立命館大学産業社会学部教授、'19から現職。

長谷川 知子(はせがわともこ)

日本経済団体連合会常務理事、SDGs本部長。上智大学大学院国際関係論、米国公認国際公共政策大学院修了。国際経済本部等を経て'26月より現職。

長野 香(ながの かおり)

立教大学総長室次長兼立教学院広報室長。'86立教大学文学部ドイツ文学科卒業。立教大学国際センター等勤務を経て'18年から現職。

樋口 紀子(ひぐちのりこ)

学校法人梅光学院学院長。梅光学院大学学長。単立折尾クリスチャン・チャーチ牧師。梅光女学院大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程修了。

川口 敏弘(かわぐちとしひろ)

福岡工業大学理事、財務部長。'86西南学院大学商学部卒業。'93学校法人福岡工業大学経理課。'11財務部長。'20より現職。

金 栄 緑(きむ よんろく)

熊本学園大学教務部長、経済学部教授。'00大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。国際経済学専門。'01より現職。

井上 誠(いのうえまこと)

宮城大学事業構想学群教授、副学長、キャンパス整備委員会委員長、アドミッションセンター長。'99博士(工学)。清水建設(株)、福山大学を経て'06より現職。

黒田 輝(くろたかがやき)

東海大学情報理工学部学部長・同学部情報科学科教授。博士(工学)。神戸大学工学部計測工学科卒・同大学院工学研究科計測工学専攻修士課程修了。

大山 龍 一 郎(おおやまりゅういちろう)

東海大学工学部学部長・同工学部電気電子工学科教授。東海大学大学院工学研究科博士課程後期修了。主著「基礎がわかる電気磁気学」など。

坂村 健(さかむらけん)

INIAID(東洋大学情報連携学部)学部長。工学博士。東京大学名誉教授。著書『イノベーションはいかに起こすか』(NHK出版・2020年)など。

石田 涼(いしだりょう)

学校法人京都精華大学理事長。84年同志社大学文学部文化学科国文学専攻卒業。高校教員などを経た後、89年に学校法人京都精華学園(当時の大学設置法人)に入職。'17から現職。

小林 順(こばやしじゅん)

東京農業大学入学センター長。'89東京農業大学農学部卒業。

村上 隆(むらかみたかし)

共立女子大学・共立女子短期大学副学長。東京大学文学部卒。同大学院博士課程単位取得満期退学。日本倫理学会評議員、文部科学省教科書審議会委員などを務める。

岡田 隆(おかたたかし)

関西学院大学高大接続センター次長。関西学院大学経済学部卒業。入職後、財務、入試、学部事務室、企画、学長室等を経て、'204月より現職。

岡田 遼介(おかだりょうすけ)

法政大学入学センター国際入試課。'11一橋大学商学部経営学科卒。法政大学学務部教学企画課を経て、'174月より現職。

須川 渡(すがわわたる)

福岡女学院大学人文学部講師。'16年大阪大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。

松木 平 淳太(まつき たいらじゅんた)

龍谷大学先端理工学部長。'1989年度東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。博士(工学)。2004年度より龍谷大学教授。2015〜2019年度龍谷大学理工学部長。2020年度より現職。

富岡 徹郎(とみおかてつろう)

学校法人国際基督教大学常務理事(総務担当)。国際基督教大学卒業。日本ヒューレット・パッカード(株)マーケティング本部長、製品事業部長。'14より学校法人国際基督教大学理事。'16より現職。

大矢野 栄次(おையの えいじ)

久留米大学経済学部教授。博士(経済学)。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。佐賀大学経済学部助教授を経て現職。主著『国際貿易の理論』など。

池上 敦子(いけがみあつこ)

'18〜成蹊学園ESDセンター所長。'09〜成蹊大学理工学部教授。立教大学理学部卒業。博士(工学)。専門は数理最適化。主著『ナース・スケジューリング』。

山下 利奈(やましたりな)

成城大学文芸学部マスコミュニケーション学科卒業。'08(株)高橋書店に入社。販売部で書店営業を担当後、書籍編集部に異動し、生活実用書・児童書の編集を手掛ける。

川島 葵(かわしまあおい)

フリーアナウンサー。上智大学文学部卒。'12からフリー。東海ラジオ「TOKYO UPSIDE STATION」、川島葵の東京からも歌謡曲」などに出演。

会長の動き

- 11月2日(月) 主要国会議員に令和3年度税制改正要望を陳情
- 11月5日(木) 主要国会議員に令和3年度予算・税制改正要望を陳情
財務省主計官と意見交換
- 11月6日(金) 主要国会議員に令和3年度予算・税制改正要望を陳情
- 11月10日(火) 第6回常務理事会に出席(ハイブリッド開催)
- 11月19日(木) 文部科学大臣と国公立大学団体会長等の意見交換会に出席
- 11月20日(金) 文教関係国会議員との「私学振興協議会」に、全私学連合代表として出席
- 11月24日(火) 第7回理事会・第2回総会に出席(ハイブリッド開催)
- 12月8日(火) 第7回常務理事会に出席(ハイブリッド開催)



11月20日文教関係国会議員との「私学振興協議会」に全私学連合代表として出席

オンラインシンポジウム「ポストコロナの『留学(受入れ・派遣)』を考える」開催報告

令和2年10月27日(火)、オンラインにて開催。95法人211名の参加をいただきました。コロナ禍の現在、留学に関する喫緊の課題が山積していることから、政府関係者より留学に関する現状をご説明いただき、グループ討議において各大学の課題や問題点、そしてコロナ禍における取り組み事例や成果の共有を行いました。

「令和2年度監事会議(オンライン講演会)」開催報告

令和2年11月12日(木)、オンラインに

て開催。91法人184名の参加をいただきました。私学法改正への対応をはじめ、コロナ禍における学校法人の法的課題や監事監査の実務等について情報共有を図ることを目的として、講演を通じた情報共有を行いました。

「令和2年度学生支援研究会議(オンライン開催)」開催報告

令和2年11月16日(月)、「コロナ禍における学生支援ー新しい生活様式下での支援のあり方ー」をテーマにオンラインにて開催。41大学82名の参加をいただきました。学生支援における様々な課題について4つの討議課題に分けてグループ討議を行い、その結果について全体で情報共有を図りました。

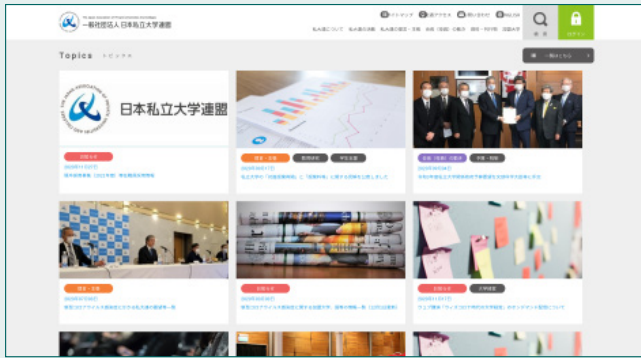
「令和2年度第2回ウェブ財務・人事担当理事者会議」開催報告

令和2年11月25日(水)、オンラインにて開催。52法人73名の参加をいただきました。大学職員業務におけるテレワーク活用は、単に「コロナ対応」だけではなく、職員の業務内容、働き方全体に及ぶ課題であるという認識のもと、テレワーク(特に大学職員の在宅勤務制度)について、講演

およびグループ討議により情報共有・意見交換を行いました。

ウェブ講演「ウィズコロナ時代の大学経営」オンデマンド配信

コロナ禍における各法人の経営の充実・強化に向けた情報提供の一環として、「ウィズコロナ時代の大学経営」をテーマとした講演を、オンデマンド配信により、令和2年11月17日(火)〜令和2年12月16日(水)まで配信しました。



私大連ウェブサイトにて
新型コロナウイルス感染症に関する情報を公開
<https://www.shidaiaren.or.jp/>



私大連 TOPICS

令和2年秋の叙勲・褒章(私大連事業関係者)

◆ 旭日小綬章

根津 公一 (根津育英会武蔵学園理事長)

◆ 瑞宝重光章

酒井 健夫 (日本大学名誉教授)

◆ 瑞宝中綬章

酒井 府 (獨協大学名誉教授)

高森 八四郎 (関西大学名誉教授)

竹内 洋 (関西大学名誉教授)

原田 園子 (神戸女学院大学名誉教授)

久岡 康成 (立命館大学名誉教授)

私大連公式Facebookページ

私大連公式Facebookを開設しています。
『大学時報』発行のお知らせはもとより、各号発行前に、座談会の開催報告や、クローズアップインタビューの担当インタビューによる記事投稿も行っています。ぜひご覧ください。

[<https://www.facebook.com/shidaiaren/>]



University Current Review

大学時報

Webサイトにて、
全文無料公開中

※第301号
(2005年3月発行)から

詳細は

<https://daigakujihou.shidaren.or.jp/>



奇数月 20日(年6回)刊行

第391号

(2020年3月発行)



【特集】

SDGsに向けた 大学の取り組み

【座談会】学生の読書実態と大学の読書啓発活動

【インタビュー】村田 陽一氏(トロンボーン奏者)

第392号

(2020年5月発行)



【特集】

大学間による 学生交流(国内留学制度)の 現状と課題

第393-394号

(2020年9月発行)



【特集】

コロナ禍における 大学の取り組み

【座談会】大学イメージの定着化によるブランディング

【インタビュー】水野 正人氏(ミズノ(株)相談役会長)

第395号

(2020年11月発行)



【特集】

大学ボランティアセンターの 役割とこれから

【座談会・小特集連動企画】コロナ禍における学生の心のケア

【インタビュー】高倉 麻子氏(プロサッカー指導者)

座談会 「東日本大震災から10年を振り返る—地域再生と私立大学」

特集 「“繋がる”を考える
—帰属意識を高めるインナーコミュニケーション」

小特集 「大学におけるICT活用の可能性」

だいがくのたから

大学点描

クローズアップ・インタビュー

福岡女学院看護大学

東京歯科大学

杉野公彦さん(株式会社ラウンドワン代表取締役社長)

編集後記

◆新型コロナウイルス感染症による影響でオンライン教育への対応は急速に進んだと感じる方も多いだろう。しかし、本特集における各大学での取り組みを見ると、コロナ禍以前よりオンライン教育へ取り組むための準備および実践を重ねていたことが分かる。つまり、オンライン教育はコロナに対応する手段ではなく、現在、必要とされる教育の形の一つなのではないだろうか。

奇しくも各大学はオンライン教育に関する知見を深化させ、効果を検証する機会を得ている。これからは検証結果も踏まえ、ニューノーマルな時代に合わせた建物やキャンパスの在り方が求められていくだろう。本特集での事例が新たな教育の道しるべとなり、コロナ禍を経験したからこそより良い学びの仕組みが確立されるという未来が来ることを切に願っている。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・法政大学多摩事務課主任 須藤智徳〉

◆突如として日本中の大学が同じ課題に直面する。このようなことは過去にあまり例がないのではないか。

今回の小特集を通じて、入試広報について各大学の試行錯誤の跡がうかがえた。準備時間がない中、オンラインイベントをなんとか実施した大学は多かったと思われる。私自身、入試広報の業務を通じて、オンラインの良さ、同時に対面イベントの良さをも再確認した。しかし、この新たな取り組みの結果をどう評価するべきか、これから入試広報はどの方向に向かつていくべきか、まだまだ正解はたどりがけないと感じる。来年度以降もこの試行錯誤は続くであろう。大学間の競争が顕著な入試の分野において、広報手段は切磋琢磨され、より効果的な手段が見つけれ

るはずである。しかし、入試広報の手段にかかわらず、その目的は変わらない。受験生に適切な情報を届け、希望する進路を選択するための材料を渡すことである。このことを忘れることなく、日々の入試広報業務に取り組みたい。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・関西学院大学高大接続センター入試課長 永野誠〉

◆「学生の時にもっと勉強しておけ

ばよかった」とは、よく聞く話である。本号の座談会は、改めてこのことを考える契機となった。

急速な変化の中で多様性に富んだ社会を見据え、最前線で大学教育を担い、関わっておられる出席者のお話は、社会人にとっても非常に示唆に富んだ言葉にあふれている。人生を豊かに送る力、自分を更新していく力、現実に対応し作り変えていく力——社会に出てからも、教養教育とは何かを自身で考えていくことを求められる思いがする。

クローズアップ・インタビューでは、『さんねんないきもの事典』を手掛けた山下利奈さんをゲストに迎えた。さんねんな視点から生き物を見つめ、すごいものさんねんも同じくらい大切に光る個性なのだというお話は、座談会でも出てきた、多様性をどのように受け止めるかを問いかけるものでもあった。

教養教育とは何か——新たな年を迎え、大きなテーマを得た思いである。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (125大学 令和3年1月20日現在)

| | | | |
|------------|------------|--------------|------------|
| 愛知大学 | 金沢星稜大学 | 南山大学 | 園田学園女子大学 |
| 亜細亜大学 | 関西大学 | 日本大学 | 大正大学 |
| 青山学院大学 | 関西学院大学 | 日本女子大学 | 拓殖大学 |
| 跡見学園女子大学 | 関東学園大学 | ノートルダム清心女子大学 | 天理大学 |
| 梅花女子大学 | 関東学院大学 | 大阪学院大学 | 東邦大学 |
| 文教大学 | 慶應義塾大学 | 大阪医科大学} | 東北学院大学 |
| 筑紫女学園大学 | 恵泉女学園大学 | 大阪薬科大学} | 東北公益文科大学 |
| 中央大学 | 敬和学園大学 | 大阪女学院大学 | 東海大学 |
| 中央大学 | 神戸女学院大学 | 大谷大学 | 常磐大学 |
| 大東文化大学 | 神戸海星女子学院大学 | 追手門学院大学 | 東京医療保健大学 |
| 獨協大学} | 皇學館大学 | 立教大学 | 東京女子大学 |
| 獨協医科大学} | 國學院大学 | 立正大学 | 東京女子医科大学 |
| 姫路獨協大学} | 国際武道大学 | 立命館大学} | 東京経済大学 |
| 同志社大学} | 国際基督教大学 | 立命館アジア太平洋大学} | 東京農業大学} |
| 同志社女子大学} | 駒澤大学 | 龍谷大学 | 東京情報大学} |
| フェリス学院大学 | 甲南大学 | 流通科学大学 | 東京歯科大学 |
| 福岡大学 | 久留米大学 | 流通経済大学 | 東洋大学 |
| 福岡女学院大学} | 共立女子大学 | 西武文理大学 | 東洋英和女学院大学 |
| 福岡女学院看護大学} | 京都産業大学 | 聖学院大学 | 東洋学園大学 |
| 学習院大学} | 京都精華大学 | 成城大学 | 豊田工業大学 |
| 学習院女子大学} | 京都橘大学 | 聖カタリナ大学 | 津田塾大学 |
| 白鷗大学 | 九州産業大学 | 成蹊大学 | 和光大学 |
| 阪南大学 | 松山大学 | 西南学院大学 | 早稲田大学 |
| 広島女学院大学 | 松山東雲女子大学 | 聖路加国際大学 | 山梨英和大学 |
| 広島修道大学 | 明治大学 | 清泉女子大学 | 四日市大学} |
| 法政大学 | 明治学院大学 | 聖心女子大学 | 四日市看護医療大学} |
| 兵庫医科大学} | 宮城学院女子大学 | 専修大学} | |
| 兵庫医療大学} | 桃山学院大学} | 石巻専修大学} | |
| 実践女子大学 | 桃山学院教育大学} | 芝浦工業大学 | |
| 上智大学 | 武蔵大学 | 白百合女子大学} | |
| 城西大学} | 武蔵野大学 | 仙台白百合女子大学} | |
| 城西国際大学} | 武蔵野美術大学 | 昭和女子大学 | |
| 順天堂大学 | 名古屋学院大学 | 創価大学 | |

大学時報

University Current Review

2021/1月号

第69巻396号(通巻409号)

令和3年1月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-4362 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9
KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)
小島隆久(同志社女子大学広報部広報室長)
須藤智徳(法政大学多摩事務課主任)
中山映(上智大学総務局SGU事業推進室長)
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)
永野誠(関西学院大学高大接続センター入試課長)
田上雅徳(慶應義塾大学法学部教授)
江津英昭(明治大学経営企画部広報課長)
兼高聖雄(日本大学芸術学部教授)
長野香(立教学院広報室長)
青柳祐(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
長野留三子(大正大教務部教務課長)
鈴木宏隆(早稲田大学広報室長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
権藤和代(日本私立大学連盟事務局)

